



Better Health, Brighter Future

2018年度第3四半期 DATA BOOK

武田薬品工業株式会社(証券コード：4502)

お問い合わせ先 グローバルファイナンスIR

TEL：03-3278-2306

<https://www.takeda.com/jp>

決算データ

<https://www.takeda.com/jp/investors/reports/>

留意事項

本データブック（それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます。）は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本データブックにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法に基づく登録又は登録免除の要件に従い行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本データブックは、（投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく）情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で（受領者に対して提供される追加情報と共に）提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性がございます。

特定されていない限り、本データブックにおけるいかなる声明（シナジーの予測の声明を含みます。）も、いかなる期間における業績予測又その見積もりを意図するものではなく、本データブックにおけるいかなる声明も、現在又は将来の会計年度における武田薬品の収益又は 1 株当たりの利益が過去に公表された武田薬品の 1 株当たりの利益と必ずしも合致し、又はそれを超えることを意味すると解釈されてはなりません。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本データブックにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあり得ます。同様に、「当社（we、us 及び our）」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

将来に関する見通し情報

本データブック及び本データブックに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む当社の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする（targets）」、「計画する（plans）」、「信じる（believes）」、「望む（hopes）」、「継続する（continues）」、「期待する（expects）」、「めざす（aims）」、「意図する（intends）」、「だろう（will）」、「かもしれない（may）」、「すべきであろう（should）」、「であろう（would）」、「することができた（could）」、「予想される（anticipates）」、「見込む（estimates）」、「予想する（projects）」などの用語又は同様の用語若しくはその否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではございません。この書類における将来見通し情報は、現在当社が入手可能な情報に鑑みて行った当社の現在の前提及び理念に基づくものです。かかる将来見通し情報は、当社又は当社の役員による、将来の業績に関する保証を表するものではなく、既知及び未知のリスクと不確実性その他の要素を伴います。リスクと不確実性には、日本、米国及び世界中の一般的な経済条件を含む当社の事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、関連法規、製品開発計画の成功又は失敗、規制当局による判断とその時期、為替変動、市場で販売された製品又は製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念等、買収対象企業との PMI（買収後の統合プロセス）が含まれますが、これらに限られません。これらにより、当社の実際の業績、経営結果、財務内容は、将来見通し情報において、明示又は暗示された将来の業績、経営結果、財務内容とは、大きく異なる可能性があります。当社の業績、経営結果又は財務状況に影響を与え得る事項の詳細に関しては、米国証券取引委員会に提出した Form 20-F による登録届出書の「第 3 項重要事項 - D. リスクファクター」をご参照ください

（<https://www.takeda.com/investors/reports/sec-filings/> 又は www.sec.gov において閲覧可能です。）。当社又は当社の役員は、この将来見通し情報において示された予想が結果的に正しいということを何ら保証するものではなく、実際の業績又は経営結果は予想と大きく異なることがあり得ます。本データブックの受領者は、将来見通し情報に過度に依存するべきではありません。武田薬品は、本データブックに含まれる、又は当社が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本データブックにおける武田薬品の経営結果は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想又は見積もりではありません。

当社は、Shire 社買収影響を含めた合理的な業績予想を策定次第、これを公表する予定ですが、企業結合会計にかかる同社の資産価値金額およびその配分額の算出、償却方法・期間等の会計処理の検討にはまだ時間を要します。また、買収完了日から当連結会計年度末までの同社の損益影響や年間の買収関連費用を、現時点で合理的に見積もることも困難です。当社は、本買収が業績にもたらす影響の大きさに鑑み、暫定的、部分的な連結業績予想の提供は現時点で行わず、全体として、合理的な業績予想を策定次第、Shire 社統合後の通期の連結業績予想を公表する方針です。

IFRS に準拠しない財務指標

本データブックには、**IFRS（国際会計基準）** に準拠しない財務指標である、実質的な売上収益、コア・アーニングス、実質的なコア・アーニングス、コア当期利益、実質的なコア当期利益、実質的なコア EPS、純有利子負債、EBITDA、調整後 EBITDA、営業フリー・キャッシュ・フローが含まれています。当社役員は業績評価並びに経営及び投資判断を、IFRS 及び本データブックに含まれる IFRS 以外の指標に基づき行っています。IFRS に準拠しない財務指標においては、IFRS に基づく場合には含まれることとなる一定の利益及びコスト並びにキャッシュ・フローを除外しており、または IFRS において最も良く対応した財務指標とは異なる計算方法で算出されています。IFRS に準拠しない財務指標を提供することで、当社役員は、投資家の皆様に対し、当社の経営状況、主要な業績及び動向の更なる分析のための付加的な情報を提供したいと考えております。IFRS に準拠しない財務指標は、IFRS に準拠するものではなく、付加的なものであり、また、IFRS に準拠する財務指標（「財務ベース」の用語で使われることがあります）に代替するものではありません。投資家の皆様におかれましては、IFRS に準拠しない財務指標につき、これらに最も良く対応する IFRS 準拠財務指標との照合を行っていただけますようお願い申し上げます。

当社の IFRS に準拠しない財務指標のさらなる詳細については当社のホームページをご参照ください。

<https://www.takeda.com/jp/investors/reports/quarterly-announcements/quarterly-announcements-2018/>

医療情報

本データブックには、製品についての情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で発売されているものではありませんし、また国によって異なる商標、効能、用量等で販売されている場合もあります。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品の効能を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

もくじ

I. 業績の状況

1. 地域別売上収益の状況

- ◆ 連結売上収益 1
- ◆ 連結医療用医薬品売上収益
- ◆ 医療用医薬品 グローバル主要品目売上高 3

2. 為替 6

II. パイプラインの現状

1. 開発の状況 7-11

- がん領域
- 消化器系疾患領域
- ニューロサイエンス（神経精神疾患）領域
- 希少疾患領域
- 血漿分画製剤
- ワクチン
- 眼科領域

2. 最近のステージアップ品目 12

3. 開発中止品目 12

4. 外部導出を通じたバリュークリエーション品目（候補品目を含む） 13

5. 共同研究開発活動 14-17

- がん領域
- 消化器系疾患領域
- ニューロサイエンス（神経精神疾患）領域
- 希少疾患領域
- 血漿分画製剤
- ワクチン
- その他／複数の疾患領域
- 終了した共同研究開発活動
- ホームページで開示している臨床試験情報

Appendix

- ◆ 医療用医薬品 米国主要品目売上高（現地通貨ベース） 18
- ◆ 医療用医薬品 国内主要品目売上高 20
- ◆ 一般用医薬品 国内主要品目売上高 22
- ◆ Underlying Coreへの調整項目一覧（2018年度 第3四半期累計および2017年度 第3四半期累計） 24
- ◆ Underlying Coreへの調整項目一覧（2018年度 第3四半期および2017年度 第3四半期） 25
- ◆ 当期利益からEBITDA/調整後EBITDAへの調整 26

I. 業績の状況

1. 地域別売上収益の状況

◆連結売上収益

(億円)

	15年度	16年度	17年度	17年度 Q3 YTD	18年度 Q3 YTD	対前年同期	
売上収益合計	18,074	17,321	17,705	13,696	13,800	104	0.8%
日本	6,881	6,553	5,803	4,632	4,440	△192	△4.1%
<売上収益比率>	<38.1%>	<37.8%>	<32.8%>	<33.8%>	<32.2%>	<△1.6pt>	
米国	5,144	5,202	5,983	4,630	4,953	323	7.0%
<同比率>	<28.5%>	<30.0%>	<33.8%>	<33.8%>	<35.9%>	<2.1pt>	
欧州およびカナダ	3,093	2,797	3,137	2,337	2,449	111	4.8%
<同比率>	<17.1%>	<16.1%>	<17.7%>	<17.1%>	<17.7%>	<0.7pt>	
新興国	2,956	2,769	2,781	2,096	1,957	△138	△6.6%
<同比率>	<16.4%>	<16.0%>	<15.7%>	<15.3%>	<14.2%>	<△1.1pt>	
ロシア/CIS	618	575	682	560	443	△117	△20.9%
<同比率>	<3.4%>	<3.3%>	<3.9%>	<4.1%>	<3.2%>	<△0.9pt>	
中南米	684	725	757	561	545	△15	△2.8%
<同比率>	<3.8%>	<4.2%>	<4.3%>	<4.1%>	<4.0%>	<△0.1pt>	
アジア	1,260	1,128	1,040	773	759	△15	△1.9%
<同比率>	<7.0%>	<6.5%>	<5.9%>	<5.6%>	<5.5%>	<△0.1pt>	
その他	394	340	302	202	211	9	4.3%
<同比率>	<2.2%>	<2.0%>	<1.7%>	<1.5%>	<1.5%>	<0.1pt>	
うち知的財産権収益・役務収益	565	601	767	610	466	△144	△23.6%

(注1) 売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

(注2) 「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれている。

◆連結医療用医薬品売上収益

(億円)

	15年度	16年度	17年度	17年度 Q3 YTD	18年度 Q3 YTD	対前年同期		実質的な 成長率
医療用医薬品売上収益 合計	16,487	15,689	16,915	13,059	13,304	245	1.9%	6.2%
日本	5,417	5,047	5,014	3,995	3,945	△50	△1.3%	4.9%
米国	5,110	5,167	5,983	4,630	4,953	323	7.0%	8.5%
欧州およびカナダ	3,056	2,760	3,137	2,337	2,449	111	4.8%	4.9%
新興国	2,904	2,715	2,781	2,096	1,957	△139	△6.6%	5.1%
ロシア/CIS	618	575	682	560	443	△117	△20.9%	△13.7%
ロシア	435	419	513	425	339	△86	△20.3%	△11.7%
中南米	682	725	757	561	545	△16	△2.9%	19.6%
ブラジル	381	390	462	340	340	△0	△0.1%	26.9%
アジア	1,212	1,078	1,040	773	759	△15	△1.9%	8.2%
中国	660	576	496	369	349	△20	△5.4%	19.5%
その他	392	337	302	202	211	9	4.3%	11.9%
うち知的財産権収益・役務収益	558	595	762	606	462	△144	△23.8%	14.2%
日本	66	187	313	243	165	△78	△32.2%	68.2%
海外	493	409	449	363	297	△66	△18.2%	△3.5%
海外医療用医薬品売上収益比率	67.1%	67.8%	70.4%	69.4%	70.3%	0.9pt		

(注1) 売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

(注2) 「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれている。

◆連結売上収益（四半期）

（億円）

	17年度				18年度							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
売上収益合計	4,482	4,332	4,882	4,010	4,498	0.4%	4,308	△0.6%	4,994	2.3%		
日本	1,603	1,347	1,682	1,171	1,443	△10.0%	1,300	△3.5%	1,698	0.9%		
<売上収益比率>	<35.8%>	<31.1%>	<34.5%>	<29.2%>	<32.1%>		<30.2%>		<34.0%>			
米国	1,486	1,532	1,613	1,353	1,611	8.4%	1,600	4.4%	1,743	8.1%		
<同比率>	<33.1%>	<35.4%>	<33.0%>	<33.7%>	<35.8%>		<37.1%>		<34.9%>			
欧州およびカナダ	736	754	848	800	791	7.5%	795	5.5%	863	1.7%		
<同比率>	<16.4%>	<17.4%>	<17.4%>	<19.9%>	<17.6%>		<18.5%>		<17.3%>			
新興国	658	699	739	685	654	△0.7%	613	△12.3%	691	△6.5%		
<同比率>	<14.7%>	<16.1%>	<15.1%>	<17.1%>	<14.5%>		<14.2%>		<13.8%>			
ロシア/CIS	170	181	209	123	141	△17.1%	134	△26.1%	168	△19.5%		
<同比率>	<3.8%>	<4.2%>	<4.3%>	<3.1%>	<3.1%>		<3.1%>		<3.4%>			
中南米	170	191	200	196	185	9.2%	162	△15.3%	198	△0.8%		
<同比率>	<3.8%>	<4.4%>	<4.1%>	<4.9%>	<4.1%>		<3.8%>		<4.0%>			
アジア	252	240	281	267	269	6.9%	250	4.1%	240	△14.9%		
<同比率>	<5.6%>	<5.5%>	<5.8%>	<6.7%>	<6.0%>		<5.8%>		<4.8%>			
その他	66	87	49	100	58	△12.1%	68	△22.2%	85	74.1%		
<同比率>	<1.5%>	<2.0%>	<1.0%>	<2.5%>	<1.3%>		<1.6%>		<1.7%>			
うち知的財産権収益・役務収益	303	128	179	157	130	△57.1%	119	△7.4%	217	21.6%		

（注1）売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。（注2）「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれている。

◆連結医療用医薬品売上収益（四半期）

（億円）

	17年度				18年度							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
医療用医薬品売上収益 合計	4,272	4,112	4,674	3,857	4,345	1.7%	4,136	0.6%	4,823	3.2%		
日本	1,393	1,127	1,475	1,019	1,290	△7.4%	1,128	0.1%	1,527	3.5%		
米国	1,486	1,532	1,613	1,353	1,611	8.4%	1,600	4.4%	1,743	8.1%		
欧州およびカナダ	736	754	848	800	791	7.5%	795	5.5%	863	1.7%		
新興国	658	699	739	685	654	△0.7%	613	△12.3%	690	△6.6%		
ロシア/CIS	170	181	209	123	141	△17.1%	134	△26.1%	168	△19.5%		
ロシア	125	138	163	88	105	△16.3%	103	△25.5%	132	△18.9%		
中南米	170	191	200	196	185	9.2%	161	△15.5%	198	△1.0%		
ブラジル	100	120	121	122	118	18.5%	101	△15.6%	121	0.0%		
アジア	252	240	281	267	269	6.9%	250	4.1%	240	△14.9%		
中国	123	103	142	127	140	13.4%	120	16.4%	89	△37.4%		
その他	66	87	49	100	58	△12.0%	68	△22.2%	85	74.1%		
うち知的財産権収益・役務収益	302	127	177	156	129	△57.3%	117	△7.6%	215	21.5%		
日本	181	25	37	70	32	△82.3%	29	16.7%	104	180.4%		
海外	121	102	140	86	97	△19.8%	89	△13.4%	112	△20.4%		
海外医療用医薬品売上収益比率	67.4%	72.6%	68.4%	73.6%	70.3%		72.7%		68.3%			

（注1）売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。（注2）「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれている。

◆医療用医薬品 グローバル主要品目売上高 (注1)

(億円)

		グロスベース		ネットベース					18年度Q3 実質的な成長
		15年度	16年度	17年度	17年度 Q3 YTD	18年度 Q3 YTD	対前年同期	18年度 見込(注3)	
エンティビオ	日本	-	-	-	-	5	5	-	-
	米国	631	996	1,336	1,006	1,369	364	36.2%	37.0%
	欧州およびカナダ	219	395	602	436	562	126	29.0%	28.5%
	新興国	13	40	75	54	74	20	37.4%	48.4%
	合計	862	1,432	2,014	1,495	2,010	515	34.4%	35.1%
ベルケイド	米国	1,316	1,129	1,137	889	820	△69	△7.8%	△7.1%
	米国以外	304	247	236	190	184	△7	△3.5%	△2.9%
	合計	1,620	1,376	1,373	1,079	1,003	△76	△7.0%	△6.3%
リュープロレリン	日本	538	486	412	330	317	△13	△4.1%	△4.1%
	米国	173	183	197	151	169	18	11.9%	12.0%
	欧州およびカナダ	353	311	345	255	253	△2	△0.7%	△1.8%
	新興国	180	163	127	95	107	12	12.6%	12.8%
	合計	1,244	1,142	1,081	832	846	15	1.8%	1.5%
アジルバ	日本	590	669	640	505	557	52	10.4%	10.4%
	合計	590	669	640	505	557	52	10.4%	10.4%
パントブラゾール	米国	136	101	72	61	41	△20	△33.4%	△32.6%
	欧州およびカナダ	434	305	306	232	211	△21	△8.9%	△9.9%
	新興国	437	337	280	203	217	15	7.3%	10.7%
	合計	1,008	742	658	495	469	△26	△5.3%	△4.2%
デクスラント	米国	640	497	495	402	403	1	0.3%	0.9%
	欧州およびカナダ	54	57	64	47	55	8	16.6%	18.2%
	新興国	57	73	99	72	91	19	26.5%	35.9%
	合計	751	626	657	521	549	28	5.4%	7.4%
タケキャブ	日本	84	341	485	375	443	68	18.2%	18.2%
	合計	84	341	485	375	444	69	18.5%	18.5%
ネシーナ	日本	369	329	266	215	222	7	3.4%	3.4%
	米国	53	52	60	48	46	△2	△3.7%	△3.1%
	欧州およびカナダ	35	61	90	65	81	17	25.9%	24.5%
	新興国	33	49	86	58	75	18	30.7%	38.6%
	合計	489	491	502	384	424	40	10.4%	11.5%
トリンデリックス	米国	245	319	484	376	446	71	18.8%	19.5%
	合計	245	319	484	376	446	71	18.8%	19.5%
ユーロリック	米国	418	414	458	342	397	55	16.0%	17.0%
	欧州およびカナダ	7	7	8	6	6	△0	△0.1%	1.4%
	新興国	-	1	3	2	2	0	7.9%	13.1%
	合計	425	422	468	350	405	55	15.7%	16.7%
ニンラーロ	日本	-	-	25	18	32	14	79.1%	79.1%
	米国	40	291	394	298	356	58	19.4%	20.3%
	欧州およびカナダ	-	2	40	27	60	33	124.8%	125.3%
	新興国	0	1	6	3	16	14	-	-
	合計	41	294	464	345	465	119	34.5%	36.6%
コルクリス	米国	465	389	403	321	236	△85	△26.5%	△25.7%
	合計	465	389	403	321	236	△85	△26.5%	△25.7%
アドセトリス	日本	31	33	38	29	37	8	27.9%	27.9%
	欧州	174	175	201	153	162	10	6.3%	5.4%
	新興国	72	93	143	106	121	16	14.8%	36.2%
	合計	276	301	385	289	320	31	10.9%	17.7%
ランソブラゾール	日本 (注2)	413	81	46	36	25	△11	△31.5%	△18.9%
	米国	275	200	152	121	54	△67	△55.6%	△54.9%
	欧州およびカナダ	105	71	72	55	49	△6	△11.2%	△12.4%
	新興国	102	92	97	72	70	△2	△2.7%	△2.6%
	合計	895	444	368	285	198	△87	△30.5%	△28.3%
アミティーザ	米国	372	337	337	269	258	△11	△3.9%	△3.3%
	欧州およびカナダ	1	1	1	1	1	△0	△8.4%	△8.1%
	新興国	-	0	0	0	0	0	57.7%	61.7%
	合計	373	338	338	269	259	△11	△3.9%	△3.3%
アイクルシグ	米国	-	27	204	154	192	38	24.7%	25.8%
	米国以外	-	2	27	19	24	5	27.4%	28.1%
	合計	-	29	231	173	216	43	25.0%	26.0%
Alunbrig	米国	-	-	28	15	37	22	144.5%	145.8%
	欧州およびカナダ	-	-	-	-	0	0	-	-
	合計	-	-	28	15	38	23	149.7%	151.4%

(注1) 知的財産権収益および役員収益を含めて表示。

(注2) 2016年4月に単剤を、2017年5月に配合剤を、テバ社との日本における合併会社に移管。現在は、これら製品の合併会社に対する供給売上を計上。

(注3) 業績予想に関する注意事項については6ページ参照。

⇒ ±<10% ⇒ +10%~20% ⇒ +20%~30% ⇒ +>30% ⇒ -10%~20% ⇒ -20%~30% ⇒ ->30%

(注4) 2018年度より、個別製品売上のグローバルな管理体系にあわせて、国内の一部製品について、値引・割戻等を個別製品毎に売上から控除して表示している。比較を容易にするため、2017年度の数値についても組み替えて表示している。当該組み替えは連結財務諸表に影響を与えるものではなく、また前年度数値の修正を意味するものではない。

グロスベース：値引・割戻等の控除前 (16年度の国内オンコロジー製品は控除後)

ネットベース：値引・割戻等の控除後

◆医療用医薬品 グローバル主要品目売上高 (注1) (四半期)

(億円)

		17年度 (ネットベース)			
		Q1	Q2	Q3	Q4
エンティビオ	日本	-	-	-	-
	米国	310	348	348	331
	欧州およびカナダ	135	144	157	166
	新興国	14	19	20	22
	合計	459	511	526	518
ベルケイド	米国	307	295	287	248
	米国以外	55	63	72	46
	合計	362	358	358	294
リュープロレリン	日本	110	97	123	82
	米国	52	41	58	46
	欧州およびカナダ	81	86	88	89
	新興国	30	32	33	32
	合計	273	256	302	249
アジルバ	日本	168	146	190	135
	合計	168	146	190	135
パントプラゾール	米国	19	22	21	12
	欧州およびカナダ	79	72	81	73
	新興国	70	84	48	78
	合計	167	178	150	163
デクスラント	米国	128	133	141	93
	欧州およびカナダ	14	16	18	16
	新興国	21	23	28	27
	合計	163	171	187	137
タケキャブ	日本	113	110	151	110
	合計	113	110	151	110
ネシーナ	日本	73	62	80	51
	米国	12	16	19	12
	欧州およびカナダ	20	20	25	26
	新興国	14	21	22	29
	合計	119	119	146	118
トリンテリックス	米国	112	122	141	108
	合計	112	122	141	108
ユーロリック	米国	112	113	117	116
	欧州およびカナダ	2	2	2	2
	新興国	1	1	1	1
	合計	114	116	120	118
ニンラーロ	日本	2	6	9	7
	米国	90	101	107	96
	欧州およびカナダ	6	9	11	13
	新興国	1	1	1	3
	合計	100	117	128	119
コルクリス	米国	96	103	122	82
	合計	96	103	122	82
アドセトリス	日本	10	9	10	9
	欧州	47	52	54	48
	新興国	36	34	35	37
	合計	93	97	99	96
ランソプラゾール	日本 (注2)	15	10	11	10
	米国	38	37	47	31
	欧州およびカナダ	19	18	18	17
	新興国	25	24	24	25
	合計	97	88	99	83
アミティーザ	米国	86	88	94	69
	欧州およびカナダ	0	0	0	0
	新興国	0	0	0	0
	合計	86	88	95	69
アイクルシグ	米国	47	50	58	50
	米国以外	5	7	7	8
	合計	52	57	64	58
Alunbrig	米国	2	6	7	13
	欧州およびカナダ	-	-	-	-
	合計	2	6	7	13

(注1) 知的財産権収益および役務収益を含めて表示。

(注2) 2016年4月に単剤を、2017年5月に配合剤を、テバ社との日本における合弁会社に移管している。

現在は、これら製品の合弁会社に対する供給売上を計上している。

(注3) 2018年度より、個別製品売上上のグローバルな管理体制にあわせて、国内の一部製品について、値引・割戻等を個別製品毎に売上加控除して表示している。比較を容易にするため、2017年度の数値についても組み替えて表示している。当該組み替えは連結財務諸表に影響を与えるものではなく、また前年度数値の修正を意味するものではない。

ネットベース：値引・割戻等の控除後

		18年度 (ネットベース)							
		Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
エンティビオ	日本	-	-	-	-	5	-		
	米国	419	35.5%	454	30.4%	496	42.5%		
	欧州およびカナダ	172	27.5%	191	32.7%	199	26.9%		
	新興国	22	50.4%	26	36.1%	26	29.5%		
	合計	613	33.6%	671	31.3%	726	38.2%		
ベルケイド	米国	262	△14.7%	271	△8.2%	287	0.1%		
	米国以外	52	△6.1%	64	1.5%	68	△5.8%		
	合計	314	△13.4%	335	△6.5%	354	△1.1%		
リュープロレリン	日本	105	△4.7%	96	△1.1%	115	△5.9%		
	米国	62	19.3%	49	19.6%	58	△0.4%		
	欧州およびカナダ	84	4.7%	83	△3.2%	86	△3.1%		
	新興国	35	14.2%	36	14.7%	37	9.3%		
	合計	286	4.7%	265	3.5%	295	△2.3%		
アジルバ	日本	194	15.5%	158	8.0%	205	7.7%		
	合計	194	15.5%	158	8.0%	205	7.7%		
パントプラゾール	米国	20	6.8%	14	△35.4%	7	△67.4%		
	欧州およびカナダ	72	△8.0%	65	△10.2%	74	△8.6%		
	新興国	70	△0.1%	66	△21.7%	81	68.9%		
	合計	162	△3.1%	145	△18.7%	162	8.1%		
デクスラント	米国	130	1.4%	126	△5.0%	147	4.3%		
	欧州およびカナダ	17	18.7%	18	14.7%	20	16.4%		
	新興国	27	30.4%	31	37.4%	32	14.5%		
	合計	174	6.6%	175	2.4%	200	7.0%		
タケキャブ	日本	142	26.4%	129	17.1%	171	12.9%		
	合計	143	26.5%	130	17.6%	171	13.1%		
ネシーナ	日本	78	6.8%	65	5.4%	79	△1.1%		
	米国	12	△6.9%	16	△0.1%	18	△4.6%		
	欧州およびカナダ	26	28.7%	25	26.1%	30	23.4%		
	新興国	26	84.3%	21	△2.1%	28	28.2%		
	合計	141	18.2%	127	6.8%	156	7.0%		
トリンデルックス	米国	141	25.8%	130	6.6%	175	23.8%		
	合計	141	25.8%	130	6.6%	175	23.8%		
ユーロリック	米国	138	23.4%	121	7.2%	137	17.5%		
	欧州およびカナダ	2	4.2%	2	1.9%	2	△5.5%		
	新興国	1	17.1%	1	28.9%	1	△19.7%		
	合計	141	23.1%	124	7.2%	140	16.8%		
ニンテラロ	日本	12	-	9	42.5%	12	27.0%		
	米国	111	23.1%	117	15.8%	127	19.6%		
	欧州およびカナダ	16	147.5%	19	111.9%	25	122.4%		
	新興国	1	39.7%	9	-	6	-		
	合計	140	39.6%	154	31.7%	171	33.2%		
コルクリス	米国	92	△4.3%	71	△31.2%	73	△40.0%		
	合計	92	△4.3%	71	△31.2%	73	△40.0%		
アドセトリス	日本	11	10.8%	11	19.8%	15	53.1%		
	欧州	55	17.7%	52	△0.1%	55	2.5%		
	新興国	43	20.0%	39	12.1%	40	12.2%		
	合計	110	17.8%	101	4.1%	109	11.0%		
ランソプラゾール	日本 (注2)	9	△42.2%	7	△25.6%	8	△21.6%		
	米国	20	△46.1%	29	△20.2%	4	△91.1%		
	欧州およびカナダ	17	△10.5%	16	△13.2%	16	△9.9%		
	新興国	24	△4.5%	24	△0.1%	23	△3.3%		
	合計	70	△27.7%	76	△14.0%	52	△47.8%		
アミティーザ	米国	78	△8.9%	84	△4.8%	96	1.4%		
	欧州およびカナダ	0	5.7%	0	3.0%	0	△26.0%		
	新興国	0	△38.8%	0	-	0	42.3%		
	合計	79	△8.9%	84	△4.7%	96	1.3%		
アイクルシグ	米国	63	34.2%	64	29.0%	65	13.4%		
	米国以外	7	43.9%	8	6.4%	9	37.2%		
	合計	70	35.1%	72	26.2%	74	15.9%		
Alunbrig	米国	11	-	12	102.3%	15	112.2%		
	欧州およびカナダ	0	-	△0	-	0	-		
	合計	11	-	12	105.1%	15	118.8%		

(注1) 知的財産権収益および役員収益を含めて表示。

(注2) 2016年4月に単剤を、2017年5月に配合剤を、テバ社との日本における合併会社に移管している。

現在は、これら製品の合併会社に対する供給売上を計上している。

(注3) 2018年度より、個別製品売上上のグローバルな管理体系にあわせて、国内の一部製品について、値引・割戻等を個別製品毎に売上から控除して表示している。比較を容易にするため、2017年度の数値についても組み替えて表示している。当該組み替えは連結財務諸表に影響を与えるものではなく、また前年度数値の修正を意味するものではない。

ネットベース：値引・割戻等の控除後

2. 為替

平均レート	(円)			
	ドル	ユーロ	ルーブル	レアル
15年度	121	132	1.9	34.1
16年度	109	120	1.7	32.9
17年度	111	129	1.9	34.5
17年度Q3 (4-12月)	112	128	1.9	34.8
18年度Q3 (4-12月)	111	130	1.7	29.6
18年度公表予想 (2018年10月31日公表)	110	130	1.7	28.2

1%為替円安影響 (2018年10月-2019年3月) 2018年10月31日公表	(億円)			
	ドル	ユーロ	ルーブル	レアル
売上収益	+31.6	+10.4	+2.3	+1.7
Core Earnings	+6.3	△1.2	+1.2	+0.4
営業利益	+1.3	△3.5	+0.9	+0.3
当期利益	△0.8	△2.4	+0.6	+0.2

II. パイプラインの状況

1. 開発の状況

- この表では当社が承認取得を目指し積極的に取り組んでいるパイプラインの主な効能を掲載しています。掲載している効能以外にも、将来の効能・剤型追加の可能性を検討するために臨床試験を行っています。
- この表では米国・欧州・日本・中国における開発状況を掲載していますが、新興国を含め他の地域においても開発を行っています。「開発段階」の欄には、米国・欧州・日本・中国のうちのいずれかにおいて、申請用データ取得試験を実施している、または販売許可申請を実施した国、地域を示しています。
- 米国・欧州・日本・中国における開発をまとめて「グローバル」の表記で記載している箇所があります。
- タケダが販売権を持っている地域において、いずれかの適応症で承認を取得している場合、製品名も記載しています（米国・欧州・日本・中国のみ）。
- ステージアップの基準はFSI（第一被験者の登録日）としています。

■ がん領域

開発コード ＜一般名＞ 製品名	薬効（投与経路）	適応症／剤型追加	開発段階	
SGN-35 ＜brentuximab vedotin＞ アドセトリス®	CD30 モノクローナル抗体薬物複合体 （注射剤）	ホジキンリンパ腫（フロントライン適応）	欧州	申請（17/11）
		末梢性 T 細胞リンパ腫（フロントライン適応）	欧州 日本	P - III P - III
		再発・難治性のホジキンリンパ腫	中国	P - II
		再発・難治性の全身性未分化大細胞リンパ腫	中国	P - II
＜brigatinib＞ ALUNBRIG®	ALK 阻害薬（経口剤）	ALK 陽性非小細胞肺癌（フロントライン適応）	米国 欧州 中国	P - III P - III P - I
		ALK 阻害薬投与歴のある患者における ALK 陽性 非小細胞肺癌	日本 中国	P - II a P - II a
		初発の多発性骨髄腫	グローバル	P - III
MLN9708 ＜ixazomib＞ ニラゾロ®	プロテアソーム阻害薬（経口剤）	自家造血幹細胞移植後の初発の多発性骨髄腫の維持療法	グローバル	P - III
		自家造血幹細胞移植未実施の初発の多発性骨髄腫の 維持療法	グローバル	P - III
		再発・難治性の原発性 AL アミロイドーシス	グローバル	P - III
		再発・難治性の多発性骨髄腫 （デキサメタゾンとの 2 剤併用療法）	米国 欧州 日本	P - III P - III P - III
		再発・難治性の多発性骨髄腫 （ダラムマブとデキサメタゾンとの 3 剤併用療法）	グローバル	P - II
		フィラデルフィア染色体陽性の急性リンパ性白血病 （フロントライン適応）	米国	P - III
＜ponatinib＞ ICLUSIG®	BCR-ABL 阻害薬（経口剤）	チロシンキナーゼ阻害薬の治療に抵抗性を示す 慢性骨髄性白血病の患者を対象とする用量設定試験	米国	P - II b
		高リスク骨髄異形成症候群、慢性骨髄単球性白血病、 低プラスト急性骨髄性白血病	米国 欧州 日本	P - III P - III P - III
TAK-924 ＜pevonedistat＞	NEDD8 活性化酵素阻害薬 （注射剤）	前立腺がん	日本 中国	P - III P - I
TAK-385 ＜relugolix＞	LH-RH アンタゴニスト（経口剤）	腎がん（ファーストライン治療、ニボルマブとの併用）	日本	P - III
＜cabozantinib＞	マルチターゲットキナーゼ阻害薬 （経口剤）	腎がん（セカンドライン治療）	日本	P - II a
		肝細胞がん（セカンドライン治療）	日本	P - II a
		卵巣がん（維持療法）	日本	P - II
＜niraparib＞	PARP1/2 阻害薬（経口剤）	卵巣がん（サルベージ療法）	日本	P - II
		子宮内膜がん	米国	P - II b
TAK-228 ＜sapanisertib＞	mTORC1/2 阻害薬（経口剤）	びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫	—	P - II a
TAK-659 ＜ - ＞	SYK/FLT3 キナーゼ阻害薬 （経口剤）	血液がん	—	P - I
TAK-931 ＜ - ＞	CDC 7 阻害薬（経口剤）	転移性結腸がん、食道扁平上皮がん、 非小細胞肺癌（扁平上皮がん）	—	P - II a
TAK-079 ＜ - ＞	抗 CD38 モノクローナル抗体 （注射剤）	再発・難治性の多発性骨髄腫	—	P - I
		全身性エリテマトーデス	—	P - I
TAK-164 ＜ - ＞	抗 GCC 抗体薬物複合体（注射剤）	消化器がん	—	P - I

TAK-573 <->	抗 CD38 抗体(IgG4)と活性減弱 IFN α との融合蛋白 (注射剤)	再発・難治性の多発性骨髄腫	—	P - I
TAK-788 <->	EGFR/HER2 阻害薬 (exon20 変異対応) (経口剤)	非小細胞肺癌	—	P - I
TAK-981 <->	SUMO 阻害薬 (注射剤)	複数のがん種	—	P - I

2018 年度第 2 四半期決算開示以降の追加： cabozantinib 腎がん (ファーストライン治療、ニボルマブとの併用) (日本 P - III)
niraparib 卵巣がん (維持療法)、卵巣がん (サルベージ療法) (日本 P - II)
pevonedistat 高リスク骨髄異形成症候群、慢性骨髄単球性白血病、低プラスト急性骨髄性白血病 (日本 P - III)

2018 年度第 2 四半期決算開示以降の削除： brigatinib クリゾチニブ投与中に進行した、あるいはクリゾチニブ不認容の ALK 陽性転移性非小細胞肺癌 (欧州で 18 年 11 月に承認されたため)
TAK-522/XMT-1522 HER2 陽性の固形がん (P-I 開発中止)
TAK-659 固形がんの適応症

■ 消化器系疾患領域

開発コード <一般名> 製品名	薬効 (投与経路)	適応症 / 剤型追加	開発段階	
SHP555 * ¹ <prucalopride> MOTTEGRITY®/ RESOLOR®	選択的 5-HT ₄ 受容体アゴニスト (経口剤)	慢性特発性便秘	米国	承認 (18/12)
MLN0002 <vedolizumab> エンタイビオ®	ヒト化抗 α 4 β 7 インテグリン モノクローナル抗体 (注射剤)	クローン病	日本 中国	申請 (18/7) P - III
		潰瘍性大腸炎	中国	P - III
		皮下投与製剤 (潰瘍性大腸炎、クローン病)	米国 欧州 日本	P - III P - III P - III
		潰瘍性大腸炎の患者におけるアダリムマブとの比較試験	グローバル	P - III
		同種造血幹細胞移植を受けている患者における 移植片対宿主病の予防	—	P - II
TAK-438 <vonoprazan> タケキャブ®	カリウムイオン競合型アシッド プロッター (経口剤)	酸関連疾患	中国	申請 (18/2)
		プロトンポンプ阻害薬による治療で効果が不十分な 患者における逆流性食道炎	欧州	P - II b
SHP633 <teduglutide> GATTEX®/ REVESTIVE®	GLP-2 アナログ (注射剤)	短腸症候群 (小児)	米国 日本	申請 (18/9) P - III
		短腸症候群 (成人)	日本	P - III
Cx601 <darvadstrocel> ALOFISEL®	同種異系脂肪由来幹細胞懸濁剤 (注射剤)	難治性のクローン病に伴う肛門複雑瘻孔	米国	P - III
TAK-721/SHP621 * ² <Budesonide>	糖質コルチコステロイド (経口剤)	好酸球性食道炎	米国	P - III
TAK-906 <->	ドパミン D2/D3 受容体アンタゴニスト (経口剤)	胃不全麻痺	—	P - II b
TAK-671 <->	プロテアーゼ阻害薬 (注射剤)	急性膵炎	—	P - I
TAK-081/EB8018 * ³ <->	FimH アンタゴニスト (経口剤)	クローン病	—	P - I
TIMP-GLIA * ⁴ <->	Tolerizing Immune Modifying nanoParticle (TIMP) (注射剤)	セリアック病	—	P - I
Kuma062 * ⁵ <->	グルテン分解酵素 (経口剤)	セリアック病	—	P - I

*1 Janssen 社との提携

*2 UCSD 及び Fortis Advisors 社との提携

*3 Enterome 社との提携

*4 Cour Pharmaceuticals 社との提携、P - I 試験は同社が実施

*5 PvP Biologics 社との提携、P - I 試験は同社が実施

2018 年度第 2 四半期決算開示以降の追加： prucalopride 慢性特発性便秘 (米国申請中)
teduglutide 短腸症候群 (米国申請、日本 P - III)
TAK-721 好酸球性食道炎 (米国 P - III)

2018 年度第 2 四半期決算開示以降の削除： TAK-954 経腸栄養不耐性 (P - II b 開発中止) 術後消化器機能障害におけ開発を予定
TAK-438 非びらん性胃食道逆流症 (日本 P - III 開発中止)

■ ニューロサイエンス（神経精神疾患）領域

開発コード ＜一般名＞ 製品名	薬効（投与経路）	適応症／剤型追加	開発段階	
Lu AA21004 ＜vortioxetine＞ TRINTELLIX®	マルチモダル型抗うつ薬 （経口剤）	大うつ病	日本	申請（18/9）
SHP489*6 ＜lisdexamfetamine dimesylate＞ VYVANSE®	アンフェタミンの作用に基づく精神刺激薬 （経口剤）	注意欠陥／多動性障害	日本	申請（17/4）
SHP465 MYDAYIS®	アンフェタミン塩混合物 （経口剤）	注意欠陥／多動性障害 （4-12 才）	米国	P - III
SHP615 ＜midazolam＞ BUCCOLAM®	GABA アロステリック調節薬 （経口剤）	けいれん性てんかん重積状態	日本	P - III
TAK-831 ＜ - ＞	D -アミノ酸化酵素阻害薬 （経口剤）	フリードライヒ運動失調症	—	P - II a
		統合失調症に伴う認知機能障害および陰性症状	—	P - II a
TAK-935*7 ＜ - ＞	CH24H 阻害薬（経口剤）	希少小児てんかん	—	P - II a
WVE-120101*8 ＜ - ＞	mHTT SNP1 アンチセンス オリゴヌクレオチド（注射剤）	ハンチントン病	—	P - I / II
WVE-120102*8 ＜ - ＞	mHTT SNP2 アンチセンス オリゴヌクレオチド（注射剤）	ハンチントン病	—	P - I / II
TAK-041 ＜ - ＞	GPR139 アゴニスト（経口剤）	統合失調症に伴う認知機能障害および陰性症状	—	P - I
TAK-341/MEDI-1341*9 ＜ - ＞	抗α-シヌクレイン抗体（注射剤）	パーキンソン病	—	P - I
TAK-418 ＜ - ＞	LSD1 阻害薬（経口剤）	歌舞伎症候群	—	P - I
TAK-653 ＜ - ＞	AMPA 受容体ポテンシエーター （経口剤）	治療抵抗性うつ病	—	P - I
TAK-925 ＜ - ＞	オレキシン 2R アゴニスト（注射剤）	ナルコレプシー	—	P - I
TAK-680/SHP680 ＜ - ＞	d-アンフェタミンのプロドラッグ （経口剤）	神経症状	—	P - I

*6 日本では塩野義との共同開発

*7 Ovid Therapeutics 社との共同開発

*8 Wave Life Sciences との 50/50 共同開発・共同販売のオプション契約

*9 AstraZeneca 社との提携、臨床第 1 相試験は同社が実施

2018 年度第 2 四半期決算開示以降の追加： lisdexamfetamine dimesylate 注意欠陥／多動性障害（日本申請）

SHP465 注意欠陥／多動性障害（4-12 才）（米国 P - III）

midazolam けいれん性てんかん重積状態（日本 P - III）

TAK-680/SHP680 神経症状（P - I）

2018 年度第 2 四半期決算開示以降の削除： なし

■ 希少疾患領域

開発コード 製品名	薬効（投与経路）	適応症／剤型追加	開発段階	
SHP643 <lanadelumab> TAKHZYRO®	血漿カリクレイン阻害 （注射剤）	遺伝性血管浮腫	中国	申請（18/12）
SHP672 ^{*10} <antihemophilic factor [recombinant], porcine sequence> OBIZUR®	抗血友病因子（遺伝子組換え） （注射剤）	インヒビター保有先天性血友病 A	米国 欧州	P－Ⅲ P－Ⅲ
SHP677 <von Willebrand factor (recombinant)> VONVENDI® VEYVONDI®	フォン・ヴィレブランド因子（遺伝子組換え） （注射剤）	フォン・ヴィレブランド病の予防	グローバル	P－Ⅲ
		出血時補充療法（小児）	グローバル	P－Ⅲ
SHP660 <Antihemophilic Factor (Recombinant), PEGylated> ADYNOVATE®	抗血友病因子（遺伝子組換え）、 PEG 修飾 （注射剤）	血友病 A(小児)	欧州	P－Ⅲ
TAK-755/SHP655 ^{*11} <->	欠損した ADAMTS13 酵素の補充 （注射剤）	先天性血栓性血小板減少性紫斑病	米国 欧州	P－Ⅲ P－Ⅲ
TAK-620/SHP620 ^{*12} <maribavir>	ベンズイミダゾールリポド系阻害剤 （経口剤）	サイトメガロウイルス感染症	米国 欧州	P－Ⅲ P－Ⅲ
TAK-607/SHP607 <->	インスリン様成長因子／インスリン様成 長因子結合タンパク （注射剤）	慢性肺疾患	—	P－Ⅱ
TAK-609/SHP609 <->	髄腔内投与用ヒトイソロン酸-2-スルファ ターゼ（遺伝子組換え） （注射剤）	ハンター-症候群(中枢性)	—	P－Ⅱ
SHP634 <parathyroid hormone> NATPARA®	副甲状腺ホルモン （注射剤）	副甲状腺機能低下症	日本	P－Ⅰ
TAK-611/SHP611 <->	ヒトアリールスルファターゼ A（遺伝子組 換え）（注射剤）	異染性白質ジストロフィー	—	P－Ⅰ
TAK-531/SHP631 ^{*13} <->	イズロン酸-2-スルファターゼと抗体の融 合タンパク（注射剤）	ハンター-症候群(中枢性)	—	P－Ⅰ
TAK-754/SHP654 ^{*14} <->	内因性第Ⅷ因子発現の回復 （遺伝子治療）	血友病 A（第Ⅷ因子遺伝子治療）	—	P－Ⅰ

*10 Ipsen 社との連携

*11 KM バイオロジクス社との連携

*12 GlaxoSmithKline 社との提携

*13 ArmaGen 社との提携

*14 Asklepios Biopharmaceuticals 社との提携

2018 年度第 2 四半期決算開示以降の追加： 希少疾患領域の表を追加

■ 血漿分画製剤

開発コード 製品名	薬効（投与経路）	適応症／剤型追加	開発段階	
SHP616 <C1 esterase inhibitor [human]> CINRYZE®	C1 エステラーゼ阻害薬 （注射剤）	急性抗体関連型拒絶反応	米国	P - III
		遺伝性血管浮腫	欧州	P - III
		遺伝性血管浮腫（皮下投与）	日本	P - III
SHP671 ^{*15} <IG Infusion 10% (Human) w/ Recombinant Human Hyaluronidase> HYQVIA [®] / HYQ [®]	遺伝子組換え型ヒトヒアルロニダーゼ含有 免疫グロブリン G 補充療法 （注射剤）	原発性免疫不全症（小児適応）	米国	P - III
		慢性炎症性脱髄性多発根神経炎	欧州	P - III

*15 Halozyme 社との提携

2018 年度第 2 四半期決算開示以降の追加： 血漿分画製剤の表を追加

■ ワクチン

開発コード 製品名	薬効（投与経路）	適応症／剤型追加	開発段階	
TAK-003	4 価 Dengue 熱ワクチン（注射剤）	Dengue 熱の予防	—	P - III
TAK-214	ノロウイルスワクチン（注射剤）	ノロウイルスによる急性胃腸炎の予防	—	P - II b
TAK-195	セービン株不活化ポリオワクチン （注射剤）	ポリオの予防	—	P - I / II
TAK-021	EV71 ワクチン（注射剤）	エンテロウイルス 71 により発症する手足口病の予防	—	P - I
TAK-426	ジカウイルスワクチン（注射剤）	ジカウイルス感染の予防	—	P - I

■ 眼科領域

開発コード 製品名	薬効（投与経路）	適応症／剤型追加	開発段階	
SHP606 <lifitegrast> XIIDRA®	LFA-1/ICAM-1 アンタゴニスト （局所投与）	ドライアイ	欧州	申請（18/12）
TAK-640/SHP640 <povidone iodine/dexamethasone>	消毒薬及び抗炎症作用薬との合剤 （局所投与）	アデノウイルスおよび細菌による結膜炎	米国 欧州	P - III P - III
TAK-759/SHP659 ^{*16} <->	上皮ナトリウムチャネル阻害薬 （局所投与）	ドライアイ	—	P - II
TAK-639/SHP639 <->	ナトリウム利尿ペプチド受容体 B アゴニスト （局所投与）	緑内障	—	P - I

*16 Parion 社との提携

2018 年度第 2 四半期決算開示以降の追加： 眼科領域の表を追加

2. 最近のステージアップ品目 ※2017年度決算開示（2018年5月14日）以降の進捗情報

開発コード <一般名>	適応症／劑型追加	国／地域	進捗情報
MLN0002 <vedolizumab>	潰瘍性大腸炎	日本	承認（18/7）
SGN-35 <brentuximab vedotin>	ホジキンリンパ腫（フロントライン適応）	日本	承認（18/9）
Lu AA21004 <vortioxetine>	大うつ病患者において、選択的セロトニン再取り込み阻害薬（SSRI）により惹起された性機能障害を、escitalopramと比較して有意に改善したことを示すデータを添付文書に追記	米国	承認（18/10）
MLN0002 <vedolizumab>	クローン病	日本	申請（18/7）
Lu AA21004 <vortioxetine>	大うつ病	日本	申請（18/9）
<ponatinib>	フィラデルフィア染色体陽性の急性リンパ性白血病（フロントライン適応）	米国	P - III
MLN0002 <vedolizumab>	同種造血幹細胞移植を受けている患者における移植片対宿主病の予防	—	P - II a
<cabozantinib>	肝細胞がん（セカンドライン治療）	日本	P - II a
MLN9708 <ixazomib>	再発・難治性の多発性骨髄腫（ダラツムマブとデキサメタゾンとの3剤併用療法）	グローバル	P - II
WVE-120101 <->	ハンチントン病	—	P - I / II
WVE-120102 <->	ハンチントン病	—	P - I / II
Kuma062 <->	セリアック病	—	P - I
TAK-164 <->	消化器がん	—	P - I
TAK-671 <->	急性膵炎	—	P - I
TAK-981 <->	複数のがん種	—	P - I
EB8018 <->	クローン病	—	P - I
<brigatinib>	クリゾチニブ投与中に進行した、あるいはクリゾチニブ不認容のALK陽性転移性非小細胞肺癌	欧州	承認（18/11）
<cabozantinib>	腎がん（ファーストライン治療、ニボルマブとの併用）	日本	P - III
TAK-906 <->	胃不全麻痺	米国	P - II b
<niraparib>	卵巣がん（維持療法）	日本	P - II
<niraparib>	卵巣がん（サルベージ療法）	日本	P - II
<brigatinib>	ALK阻害薬投与歴のある患者におけるALK陽性非小細胞肺癌	中国	P - II

※太線以下は、2018年度第2四半期決算開示（2018年10月31日）以降の進捗情報

3. 開発中止品目 ※2017年度決算開示（2018年5月14日）以降の情報

開発コード <一般名>	適応症／劑型追加（開発段階）	中止および終了理由
MLN0002 <vedolizumab>	ステロイド難治性の移植片対宿主病（P - II a）	ステロイド難治性の移植片対宿主病の患者において、種々の合併症により開発を継続するに足る有効性を示すことが困難となり、開発中止を決定。
SPI 0211 <lubiprostone>	新規劑型（米国 P - III）	慢性特発性便秘の成人患者における新規スプリングル製剤とカプセル剤とをブラセボと比較して生物学的同等性を評価する第3相臨床試験において、当該基準を満たさなかった。
TAK-522 / XMT-1522 <->	HER2陽性の固形がん（P - I）	HER2を標的とする治療における競合環境を踏まえ、本品のさらなる開発の中止を決定。
TAK-438 <vonoprazan>	非びらん性胃食道逆流症（日本 P - III）	P-III試験データは本効能での承認申請を追求するに足るものではなかった。安全性については、新たな知見なし。
TAK-954 <->	経腸栄養不耐性（P - II b）	進化する患者管理の場において治験患者の募集が困難であったため開発を中止。本品については別の効能である術後消化器機能障害での開発を予定しており、その最初の患者への投与を2019年度第1四半期までに開始する予定。

※太線以下は、2018年度第2四半期決算開示（2018年10月31日）以降の進捗情報

4. 外部導出を通じたバリュークリエーション品目（候補品目を含む） ※2017年度決算開示（2018年5月14日）以降の情報

開発コード <一般名>	適応症/剤型追加（開発段階）	理由
TAK-385 <relugolix>	子宮筋腫（日本・承認） 子宮内膜症（日本 P - II b）	製品価値の最大化を目的に、日本における子宮筋腫の独占的販売権および子宮内膜症の独占的開発・販売権を、婦人科領域に強みを有するあすか製薬に導出。
SHP647 <->	炎症性腸疾患	2018年10月27日に公表したとおり、当社は、SHP647および関連する権利のあり得べき売却を問題解消措置案として欧州委員会（EC）に提出。

他社へ導出した品目

導出先	内容/目的	
あすか製薬 [†]	relugolix（一般名、開発コード：TAK-385）に関し、製品価値の最大化を目的に、日本における子宮筋腫の独占的販売権および子宮内膜症の独占的開発・販売権を、あすか製薬に導出するライセンス契約。	
Biological E. Limited	インド、中国および低・中所得国において、安価な混合ワクチンの開発を促進するため、既存の麻しんワクチンおよび無細胞百日せきワクチンの大量生産技術を当社からBiological E.社へ移管。	
Cardurion Pharmaceuticals	湘南研究所の12名の循環器系疾患領域の研究チーム、同研究所内の整備された研究スペース、研究開発リソース及び循環器系疾患の複数の前臨床パイプラインをCardurion社に提供。	
Cerevance	武田ケンブリッジ（英国）から25名の神経科学研究チームのCerevance社への移籍とともに、十分に整備された研究施設および前臨床・臨床段階のポートフォリオをCerevance社に移管。	
Izana Biosciences	Namilumabの全ての効能に関し、全世界において開発、製造および販売を行う独占的権利をIzana Biosciences社に供与。本ライセンス契約の一部として、同社の株式を戦略的に取得。	
Mirum Pharmaceuticals	頂端側ナトリウム依存性胆汁酸輸送体（ASBT）経口阻害薬であるmaralixibatおよびvolixibatの全世界の開発・販売にかかる独占的権利を供与。Maralixibatは、小児に発症する傾向がある消耗性肝疾患であるアラジール症候群および進行性家族性肝内胆汁うっ滞症の治療薬としてP-IIで開発中。	
Myovant Sciences	日本とアジアの一部の国を除く全世界におけるrelugolix（TAK-385）の独占的権利、および全世界におけるMVT-602（TAK-448）の独占的権利をMyovant社に供与。	
Rhythm	T-3525770（現開発コードRM-853）の全世界の開発・販売にかかる独占的権利をRhythm社に供与。RM-853はプラダウウィリ症候群を対象として前臨床段階にある強力な経口投与可能なグレリン脂肪酸転移酵素（GOAT）阻害薬。	
Schoia Pharma	TAK-272、TAK-792及びTAK-094を含めた8つの研究開発プロジェクトに関して、独占的に研究、開発、製造、販売等を行う権利を供与。	
Samsung Bioepis	アンメトニーズの高い疾患領域における新規生物学的治療薬への共同出資・共同開発。本プログラムの最初の治療薬候補は重症肺炎への適応を企図とするTAK-671。	
Stargazer [†]	当社のパイプライン品目をStargazer社に導出。	
Entrepreneurial Venture Programs (EVPs)	Aikomi	認知症患者向けのデジタル治療法を開発中。
	ChromaJean	独自のアルゴリズムやソフトウェアに基づくクロマトグラフィー・プラットフォームを構築。
	Chordia Therapeutics	当社湘南研究所の6名のがん領域研究者、同研究所内の整備された研究スペース、研究開発リソース及び CDC様キナーゼ阻害薬を含めたがん領域の前臨床パイプラインをChordia社に提供。
	ファイメクス	タンパク質分解誘導を作用機序とする新たな医薬品の研究開発。
	GenAhead Bio	特定の細胞に対する核酸デリバリ技術、ならびに効率的なゲノム編集技術という2つの技術を提供。受託サービスや細胞療法・遺伝子治療における共同研究も提供。
	ジェクスヴァル	当社の研究後期・開発初期のパイプラインを活用し、肺動脈性肺高血圧症などの難病の治療薬を創出。
	リボルバイオサイエンス	遺伝病に伴うRNA変性を調節する低分子医薬品を開発。
	Seedsupply	新規Binder Selection Technologyと当社の化合物ライブラリーを用いてハイスループットスクリーニングの受託サービスを提供。同Technologyと自社のタンパク質ライブラリーを用いた標的分子同定の受託サービスも提供。
ARTham [†]	ドラッグリポジショニングによって特定した質の高い品目の臨床及び非臨床段階の開発に注力。	

[†] 2018年4月1日以降の新規契約

5. 共同研究開発活動

■ がん領域

提携先	国	内容/目的
Adimab [†]	米国	がん領域において、3つのモノクローナル抗体及び3つのCD3二重特異性抗体の創製・開発・販売。
Centre d'Immunologie de Marseille-Luminy	フランス	先天性生物学における専門知識を当社のBacTrap技術と組み合わせ、骨髄細胞における新規の標的および経路を検証。
Crescendo Biologics	英国	がん領域におけるHumabody [®] を用いた治療薬の創製、開発および販売。
Exelixis, Inc.	米国	がん治療薬cabozantinibに関して、日本における進行性腎細胞がん及び肝細胞がんをはじめ適応拡大を含めた独占的な開発・販売権を獲得。
GammaDelta Therapeutics	英国	ヒト組織常在型のガンマ・デルタ細胞が有する独自の特性に基づくGammaDelta社の新規T細胞基盤技術を活用した、新たな免疫治療薬の研究開発。
Haemalogix [†]	オーストラリア	多発性骨髄腫における新規抗原に関するライセンスと共同研究。
Heidelberg Pharma	ドイツ	抗体薬物複合体に関する2標的とライセンスを含む研究提携（アルファアマニチン毒素及び独占権を有するリンカー）。
ImmunoGen, Inc.	米国	ImmunoGen社が有するADC（抗体薬物複合体）技術を活用した抗がん剤（TAK-164）の開発・販売。
Maverick Therapeutics	米国	T細胞によるがん細胞認識および攻撃能力の有効性を向上させるために開発されたT細胞誘導療法の基盤技術開発。
Memorial Sloan Kettering Cancer Center [†]	米国	血液がん・固形がんに対する、新規のキメラ抗原受容体発現T細胞（CAR-T）の細胞療法を研究・開発。
Molecular Templates	米国	最初の提携契約では、Molecular Templates社が有するengineered toxin bodies (ETB)基盤技術の治療標的候補に活用。 2つ目の契約では、多発性骨髄腫などの疾患を対象とするCD38を標的とするETBを共同開発 [†] 。
Nektar Therapeutics	米国	Nektar社が保有する免疫治療候補薬であるNKTR-214（CD122-biased agonist）と、当社のがん領域における5つの開発品目との併用治療を検証する共同研究。
ノイルイミュン・バイオテック	日本	山口大学 玉田耕治教授により開発された次世代型キメラ抗原受容体発現T細胞（CAR-T）療法の研究開発。
Seattle Genetics	米国	CD30を標的とするADC（抗体薬物複合体）であるホジキンリンパ腫治療剤「アドセトリス」の共同開発。現在は67カ国において承認済みであり、追加効能取得のための臨床試験を実施中。
Shattuck Labs	米国	免疫療法と単一薬剤の組み合わせを可能とするShattuck社独自のAgonist Redirected Checkpoint (ARC) [™] プラットフォーム技術を用いたチェックポイント融合蛋白の探索及び開発。
Tesaro	米国	新規がん治療薬niraparibに関して、日本における全てのがん、および韓国、台湾、ロシア、オーストラリアにおける前立腺がんを除く全てのがんに関する独占的な開発・販売権を獲得。
Teva	イスラエル	TEV-48573 (TAK-573) (CD38-Attenukine)の全世界の権利及びTeva社のAttenukineプラットフォーム技術を活用する複数のターゲットの研究提携。

† 2018年4月1日以降の新規契約

■ 消化器系疾患領域

提携先	国	内容/目的
Ambys Medicines [†]	米国	様々な肝疾患において、肝機能の回復および肝不全への進行抑制という差し迫った医療ニーズに対し、細胞治療、遺伝子治療、機能獲得薬物療法を含む新規モダリティを臨床応用。
Arcturus	米国	非アルコール性脂肪肝炎及び他の消化器系疾患において、Arcturus社が有するLUNAR [™] 脂質媒体薬物送達システム及びUnlocked Nucleomonomer Agent (UNA)オリゴマーの化学的性質を活用し、RNAをベースとする治療薬の共同開発。
Beacon Discovery	米国	消化器系疾患に対するG蛋白質共役型受容体に関連する薬剤の創製・開発プログラム。
Cour Pharmaceutical Development Company	米国	Cour社が有するTolerizing Immune Modifying nanoParticles(TIMP)技術に基づくナノテクノロジー技術を用いたTIMP-Gliadinの共同開発に活用し、セリアック病等の消化器疾患の治療薬となり得る免疫調整薬を創出。
Emulate Bio	米国	オーガニックマイクロエンジニアリングモデルを用いた炎症性腸疾患に対する薬剤の探索。
enGene	カナダ	enGene社の遺伝子導入基盤技術である「Gene Pill」を活用し、専門的な消化器系疾患領域に対する新規治療薬を創出・開発・販売。
Enterome	フランス	潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患や過敏性腸症候群などの腸管運動障害をはじめとした消化器系疾患において重要な役割を担うと考えられる腸内細菌を標的とした新たな治療薬を創出・開発。また、EB8018/TAK-018のクローン病におけるグローバルのライセンス及び共同開発。
Finch Therapeutics	米国	炎症性腸疾患を対象とした腸内細菌移植試験における良好な臨床結果との関連が示唆される複数の細菌株を培養した前臨床段階の生菌カクテル製剤であるFIN-524の全世界を対象とした共同開発。
Hemoshear Therapeutics	米国	非アルコール性脂肪肝炎を含む肝臓の疾患において、HemoShear社の創製基盤技術であるREVEAL-Tx [™] を活用し、新規治療法を創出。
Janssen	ベルギー	慢性便秘症治療薬prucaloprideの米国における開発・販売にかかる独占的なライセンス。本品は2018年12月に製品名Motegrityとして米国で承認取得。

Karolinska Institutet & Structural Genomics Consortium	スウェーデン	炎症性腸疾患における新規治療法の探索および検証に向けた共同研究。
NuBiyota	カナダ	Microbial Ecosystem Therapeuticを活用した腸内細菌由来の治療薬の研究開発。
PvP Biologics	米国	グルテンが持つ自己免疫反応を引き起こす成分を胃の中で分解するよう設計された酵素製剤であるKuma062の全世界を対象とした共同開発。
Theravance Biopharma	米国	消化管運動障害治療薬候補である5-HT4受容体アゴニストTAK-954のグローバルにおける提携契約。
UCSD/Fortis Advisors	米国	UCSD（カリフォルニア大学サンディエゴ校）からのライセンス技術を活用し、好酸球性食道炎治療薬としてペロニド経口製剤（TAK-721）を開発。

■ ニューロサイエンス（神経精神疾患）領域

提携先	国	内容／目的
Affilogic	フランス	Affilogic社が有するNanofitin®技術を活用し、中枢神経系疾患を対象とした治療薬に関する共同研究開発。
AstraZeneca	英国	パーキンソン病の治療薬候補として、alpha-synuclein抗体であるMEDI1341（TAK-341）の共同開発・販売契約。
Denali Therapeutics	米国	Denali社が有する脳へのバイオ治療薬移行性を高めるAntibody Transport Vehicle（ATV）プラットフォーム技術を用いた、3つの神経変性疾患治療薬候補の開発および販売に関する戦略的オプションを含む提携契約。
Lundbeck	デンマーク	Vortioxetineの共同開発・販売契約。
Mindstrong Health	米国	特定の精神疾患（特に、統合失調症および治療抵抗性のうつ病）を対象としたデジタルバイオマーカーの開発。
Ovid Therapeutics	米国	CH24H阻害薬であるTAK-935（経口剤）の希少小児てんかんでの共同開発。当社とOvid社は開発・製品化にかかる費用を折半し、開発成功時の利益も折半。
塩野義製薬	日本	注意欠陥／多動性障害治療薬（Vyvanse及びインチュニブ）の日本における共同開発・販売契約。
Teva	イスラエル	Rasagilineの共同開発・販売契約。
Verily	日本	Verily社が開発中のStudy Watchを用いたパーキンソン病患者の運動症状を解析する共同臨床研究。
Wave Life Sciences	米国	神経疾患に対するアンチセンスオリゴヌクレオチド医薬品の開発を目指した研究開発および販売に関する契約、ならびに複数のプログラムに関するオプション契約。

■ 希少疾患領域

提携先	国	内容／目的
AB Biosciences	米国	希少疾患を対象とする品目が開発される可能性を有する研究提携。自己免疫炎症性疾患にフォーカスし、特定の免疫状態を標的とする様々なタイプの受容体と相互作用する分子が研究の対象。
ArmaGen	米国	AGT-182（TAK-531/SHP631）の開発を目的とする全世界のライセンスおよび提携契約。ハンター症候群における中枢神経系および身体的症状のいずれにも治療効果が期待できる酵素補充療法。
Asklepios Biopharmaceuticals	米国	血友病 A および B を対象とする第Ⅷ因子の遺伝子治療を目的とする複数の研究開発提携。
BioMarin	米国	イデュルスルファーゼの髄腔内投与により外因性にイズロン酸-2-スルファターゼを補充することを可能にする技術の導入。認知機能障害を伴うハンター症候群患者において、長期的な治療のために本酵素を中枢神経系に直接到達させることにより、認知機能障害の進行を遅らせる（TAK-609/SHP609）。
IPSEN	フランス	後天性血友病A治療のためのObizurの開発。緊急および非緊急の手術におけるインヒビター保有先天性血友病A患者への適用も含む。
KMバイオロジクス	日本	ADAMTS13欠損克服のためのTAK-755の開発提携。臨床的寛解を誘導し、先天性および後天性の血栓性血小板減少性紫斑病による病的状態と致死を低減させることを企図。
Max Planck Institute	ドイツ	特定の知的財産に基づく独占的な全世界でのライセンス契約。希少疾患領域においてライセンス対象品目の開発・商用化を行う。
NanoMedSyn	フランス	NanoMedSyn社独自の合成誘導体AMFAを用いて酵素補充療法の可能性を評価する前臨床研究提携。
Novimmune	スイス	血友病A治療を目的に前臨床開発段階にある革新的な二重特異性抗体に関する独占的な全世界での開発および商用化の権利。
Rani Therapeutics	米国	血友病治療として第Ⅷ因子を経口で送達するためのマイクロタブレットの評価を行う研究提携。
Xenetic Biosciences	米国	PolyXen（ポリリアル酸ポリマー）を用いた血友病第Ⅶ因子、第Ⅷ因子、第Ⅸ因子および第Ⅹ因子の送達技術に関する独占的研究開発ライセンス契約。

■ 血漿分画製剤

提携先	国	内容/目的
Halozyme	米国	Halozyme社の独自基盤技術ENHANZE™の導入。HyQviaの拡散と吸収を高める。進行中の開発活動は、原発性および続発性の免疫不全を対象とする小児効能追加（米国）および慢性炎症性脱髄性多発根神経炎の効能取得を目的とするPh3試験。
Kamada	イスラエル	α1-プロテアーゼインヒター(Glassia)の開発および商用化の導入契約；Glassiaの米国、カナダ、オーストラリアおよびニュージーランドにおける独占的供給および流通；実施中の市販後コミットメント臨床試験のプロトコル立案。

■ ワクチン

提携先	国	内容/目的
米国政府 The Biomedical Advanced Research and Development Authority (BARDA)	米国	米国や世界中の流行地域でのジカウィルス感染への取り組みとして、当社が有するジカ熱ワクチン（TAK-426）の開発をBARDAが助成。
Bill & Melinda Gates Foundation	米国	発展途上国でのポリオ根絶を目指し、当社が有するセーピン株不活化ポリオワクチン（TAK-195）の開発をBill & Melinda Gates Foundationが助成。
Zydus Cadila	インド	顧みられない新興感染症への取り組みとして、チングニア熱ワクチン（TAK-507）を共同開発。

■ その他/複数の疾患領域

提携先	国	内容/目的
国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)	日本	ゲノム編集により作製した疾患iPS心筋細胞を用いた肥大型心筋症治療薬の開発（CICLE: AMEDによる医療研究開発革新基盤創成事業）。
Arix Bioscience	英国	がんおよび消化器系疾患を中心に、ベンチャー企業とバイオテック企業との連携によるバリューチェーン。
Arcellx	米国	T細胞が媒介する抗がん治療の基盤研究と開発への投資。
ArmaGen [†]	米国	独自の基盤技術より、身体の自然なシステムを利用し、非侵襲的に脳に治療薬を送達する技術を持つArmaGen社への投資。
Atlas Ventures	米国	ベンチャーへの投資を促進する11回目のファンド。
Biomotiv	米国	免疫・炎症および代謝性・循環器疾患領域において革新的な新薬候補物質の同定・開発の強化に向けた戦略的投資。
BiomX	イスラエル	炎症性腸疾患やがんなどの腸内細菌関連疾患において、有害な細菌を探索・破壊するよう合理的に設計されたファージ療法を開発するとともに、腸内細菌の標的を探索、検証するBiomX社への投資。
BioSurfaces, Inc.	米国	BioSurfaces社のナノメトリアル技術を活用した、消化器系疾患の患者さんを治療するための革新的な医療デバイスに関する共同研究。
Bridge Medicines	米国	Tri-I TDIで採択された研究プロジェクトに対して、資金面、運用面、管理面で支援を行い、有効性やターゲットの創薬上の検証であるブルー・オブ・コンセプト（POC）試験から臨床試験への移行まで継ぎ目なく実施。
京都大学iPS細胞研究所（CiRA）	日本	当社重点領域疾患（ニューロサイエンス、オンコロジー、消化器系）及びその他疾患領域でトランスレーショナルサイエンス探索のためのiPS細胞の臨床応用。
Cortexyme	米国	アルツハイマー病や他の神経変性疾患の原因に関する新しい理論を支持するデータに基づき、新規の治療法を開発するCortexyme社への投資。
Dementia Discovery Fund (DDF)	英国	認知機能障害の革新的治療のための創薬・開発を支援するグローバルな投資ファンド。
Emendo	イスラエル	重篤な疾患や障害の原因となる細胞の遺伝子変異を修復・除去することができるゲノム編集技術の開発、最先端の遺伝子治療に取り組むEmendo社への投資。
Encyle Therapeutics	カナダ	経口投与で生体利用可能な消化器系標的阻害薬として大環状ペプチド誘導体を開発する企業への投資。
Endosome Therapeutics	米国	消化器系内臓痛を含む疼痛向けに新規治療法を探索する新会社設立への投資。
富士フィルム	日本	iPS細胞由来心筋細胞を用いた再生医療製品の共同事業化。
FuturRx	イスラエル	イスラエルにおけるイノベーションにアクセスするシード段階のベンチャーファンド/アクセラレーターへの投資。既存のシンジケートを活用することにより、リスクを低減。
GlaxoSmithKline	英国	GlaxoSmithKline社およびミシガン大学とのヒトサイトメガロウィルス感染症治療薬としてのmarabivir導入契約。
Harrington Discovery Institute at University Hospitals in Cleveland, Ohio	米国	希少疾患治療に繋がる革新的な研究提携。
HITGen	中国	HITGen社のDNAエンコードライブラリーデザイン、合成、スクリーニング技術によって発見された新規治療薬プラットフォームに関して、当社は独占的ライセンスの権利を有する。

HiFiBio	米国	消化器系およびがんの疾患領域において新規の治療抗体を見出すためのハイスループット抗体探索基盤技術。
Hookipa Biotech	オーストラリア	ベンチャーやバイオテック企業との提携によるバリューチェーン。
Isogenica	英国	シングルドメイン抗体 (sdAb)の基盤技術を活用し、がんや消化器系疾患領域における病因の検証やパイプライン開発のための様々な免疫細胞や標的に対するへのVHH (重鎖抗体の重鎖得可変領域) の開発。
国立がん研究センター	日本	抗がん剤の創薬やがん生物学の研究に携わる研究者、医師などの交流を促進による、基礎研究から臨床試験までの治療オプションの探索。
Numerate	米国	当社重点疾患領域 (オンコロジー、消化器系、ニューロサイエンス) におけるAIプラットフォームを用いた臨床標的の同定を企図した共同研究 (ヒット化合物からリード化合物のデザイン・最適化さらには薬物動態・毒性モデルまで)。
OrphoMed	米国	独自のダイマー治療プラットフォームを有し臨床開発を対象とするバイオテック企業であり、消化器系疾患領域において、ベストインクラスのダイマー治療薬の基盤技術を活用するOrphoMed社への投資。
Obsidian Therapeutics	米国	薬理的オペレーティングシステムを用いて次世代の細胞療法・遺伝子治療を開発するObsidian社への投資。
Palleon	米国	がん領域において糖鎖関連免疫チェックポイント阻害治療を開発する企業への投資。
Parion	米国	ドライアイ治療薬TAK-759/SHP659の全世界における開発・商業化の独占的ライセンス。
Presage	米国	複数の初期段階にある治療候補薬を患者で同時且つ直接評価することが可能になるCIVO基盤技術を保有するPresage社への投資。
Portal Instruments	米国	針を使わない医療用デバイスの武田薬品の開発中または承認済み生物学的製剤への応用開発および商品化。
Recursion Pharmaceuticals	米国	当社TAK-celerator™ 開発パイプラインのための前臨床課題の提供。
Ribon Therapeutics	米国	がん細胞のストレス下で生存する基本的な能力を阻止するmonoPARP阻害剤の発見と開発を行っているRibon Therapeutics社への投資。
Schrödinger	米国	保有するin silico技術に基づく創薬力と当社の疾患領域に対する深い知見および構造生物学における専門性を融合した、複数の創薬標的に関する共同研究。
Seattle Collaboration	米国	SPRInT (Seattle Partnership for Research on Innovative Therapies) : Fred Hutchinson Cancer Research Center及びWashington大学によるヒト疾患治療への先進的発見の促進 (オンコロジー、消化器系、ニューロサイエンスに注力)。
Stanford University	米国	革新的な治療薬をさらに効率的に開発するために、Stanford Alliance for Innovative Medicines (Stanford AIM)を設立。
Stride Bio [†]	米国	希少疾患治療のための遺伝子治療向けに設計されたウイルスベクターの開発を行っているStride Bioへの投資。Stride Bio社の技術エンジンが生体に存在する中和抗体を回避することが可能なアデノ随伴ウイルスベクターを設計。
Tri-Institutional Therapeutics Discovery Institute (Tri-I TDI)	米国	産学連携を推進し、革新的な医薬品を創出。
Ultragenyx	米国	希少遺伝子疾患。
Univercells	ベルギー	バイオ医薬品の適正なコストでの利用促進を目指し、新しいバイオ医薬品製造プラットフォームを提供するテクノロジー企業。
VelosBio	米国	前臨床段階にあるADCs (抗体薬物複合体) を開発しているVelosBio社への投資。
VHsquared	英国	臨床開発を対象とする企業で、炎症性腸疾患のための画期的治療薬Vorabodies™ (経口ドメイン抗体) を開発。
Whiz Partners ‡	日本	日本の創薬エコシステム構築を目指す投資組合の共同設立。

†2018年4月1日以降の新規契約

注：本リストは全ての共同研究開発活動を記載しているものではありません。

■ 終了した共同研究開発活動

提携先	国	内容/目的
Gencia LLC	米国	血液疾患および炎症性疾患を対象とした、ミトコンドリア結合型糖質コルチコイド受容体作動薬 (「MAGR作動薬」) の研究開発。
Mersana	米国	HER2を標的とする治療の競合環境を踏まえ、TAK-522/XMT-1522のさらなる開発の中止を決定。
Prana Biotechnology Ltd.	オーストラリア	消化器系における神経変性を防ぐPrana社のpbt434に関する研究提携。
TiGenix	ベルギー	TiGenix社を買収。
慶應義塾大学、新潟大学、京都大学	日本	神経精神疾患やがんなどを対象とした、疾患関連RNA結合タンパク質の探索と機能解析。
アステラス製薬、第一三共	日本	革新的医薬品の創出を効率化・加速化するための、健康成人におけるバイオマーカーの基礎データ。

■ ホームページで開示している臨床試験情報

臨床試験情報は自社ホームページの英文サイト (<https://takedaclinicaltrials.com/>) で、日本における情報については和文サイト (<https://www.takeda.com/jp/what-we-do/research-and-development/takeda-clinical-trial-transparency/>) で公開しています。当社では、全世界の医療関係者および患者さんなど多くの方々に臨床試験情報を公開することにより、当社製品のより一層の適正使用に資するものと考えています。

Appendix

◆ 医療用医薬品 米国主要品目売上高（現地通貨ベース）^(注1)

（百万米ドル）

	ネットベース						対前年同期	
	15年度	16年度	17年度	17年度 Q3 YTD	18年度 Q3 YTD			
エンテビオ	524	913	1,202	901	1,235	334	37.0%	
ベルケイド	1,059	1,000	995	776	717	△59	△7.5%	
トリンテリックス	203	294	435	337	402	66	19.5%	
デクスラント	530	457	445	360	363	3	0.9%	
ユーロリック	347	380	411	306	358	52	17.0%	
ニンラーロ	34	267	354	267	321	54	20.3%	
アミティーザ	308	310	303	241	233	△8	△3.3%	
コルクリス	386	358	362	288	214	△74	△25.7%	
アイクルシグ	-	22	171	130	157	27	20.5%	
プレバシド (ランソプラゾール)	222	179	132	104	46	△58	△55.9%	
Alunbrig	-	-	25	13	33	20	145.8%	

（注1）知的財産権収益および役務収益を除いた製品売上高を表示。

ネットベース：値引・割戻等の控除後

◆ 医療用医薬品 米国主要品目売上高（現地通貨ベース）^{（注1）}（四半期）

（百万米ドル）

	17年度（ネットベース）				18年度（ネットベース）							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
エンティビオ	278	314	309	301	387	39.3%	410	30.6%	438	41.5%		
ベルケイド	268	259	249	219	235	△12.1%	235	△9.1%	247	△1.0%		
トリンテリックス	101	110	126	98	130	29.4%	117	6.7%	154	22.9%		
デクスラント	115	120	126	85	120	4.2%	114	△5.0%	130	3.5%		
ユーロリック	101	102	104	105	128	27.1%	109	7.3%	121	16.7%		
ニンラーロ	81	91	95	87	103	26.8%	106	16.2%	112	18.7%		
アミティーザ	77	80	84	63	72	△6.2%	76	△4.7%	84	0.6%		
コルクリス	87	93	109	74	85	△1.6%	64	△31.0%	65	△40.5%		
アイクルシグ	40	42	49	41	55	37.8%	51	22.5%	51	4.5%		
プレバシド （ランソプラゾール）	33	31	40	28	18	△46.0%	25	△20.1%	3	△91.7%		
Alunbrig	2	5	6	12	10	-	10	102.4%	13	110.7%		

（注1）知的財産権収益および役務収益を除いた製品売上高を表示。

◆ 医療用医薬品 国内主要品目売上高

(億円)

	発売年月	薬効区分	グロスベース		ネットベース				
			15年度	16年度	17年度	17年度 Q3 YTD	18年度 Q3 YTD	対前年同期	
アジルバ ^(注1)	(12. 5)	高血圧症治療剤	590	669	640	505	557	52	10.4%
タケキャブ ^(注1)	(15. 2)	酸関連疾患 治療剤	84	341	485	375	443	68	18.2%
リュープリン (リュープロレリン)	(92. 9)	前立腺がん・乳がん・ 子宮内膜症治療剤	538	486	412	330	317	△13	△4.1%
エンブレル	(05. 3)	抗リウマチ剤	408	404	371	295	279	△16	△5.4%
ロトリガ	(13. 1)	高脂血症治療剤	223	275	285	224	243	19	8.3%
ネシーナ ^(注1)	(10. 6)	糖尿病治療剤	369	329	266	215	222	7	3.4%
バクティビックス	(10. 6)	直腸・結腸がん 治療剤	184	188	189	150	162	12	8.2%
レミニール	(11. 3)	アルツハイマー型 認知症治療剤	160	174	161	128	130	1	1.0%
ロゼレム	(10. 7)	不眠症治療剤	74	81	80	63	74	11	18.0%
ベネット	(02. 5)	骨粗鬆症治療剤	97	83	68	55	48	△7	△12.4%
アドセトリス	(14. 4)	悪性リンパ腫 治療剤	31	33	38	29	37	8	27.9%
ニンラーロ	(17. 5)	多発性骨髄腫 治療剤	-	-	25	18	32	14	79.1%
アジレクト	(18. 6)	パーキンソン病治療剤	-	-	-	-	5	5	-
エンタイビオ	(18. 11)	潰瘍性大腸炎治療剤	-	-	-	-	5	5	-

(注1) 配合剤、パック製剤を含む。

(注2) 2018年度より、個別製品売上のグローバルな管理体系にあわせて、国内の一部製品について、値引・割戻等を個別製品毎に売上から控除して表示している。比較を容易にするため、2017年度の数値についても組み替えて表示している。当該組み替えは連結財務諸表に影響を与えるものではなく、また前年度数値の修正を意味するものではない。

グロスベース：値引・割戻等の控除前（16年度の国内オンコロジー製品は控除後）

ネットベース：値引・割戻等の控除後

◆ 医療用医薬品 国内主要品目売上高（四半期）

（億円）

発売年月	薬効区分	17年（ネットベース）				18年度（ネットベース）							
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
アジルバ ^(注)	(12. 5)	高血圧症治療剤	168	146	190	135	194	15.5%	158	8.0%	205	7.7%	
タケキャブ ^(注)	(15. 2)	酸関連疾患治療剤	113	110	151	110	142	26.4%	129	17.1%	171	12.9%	
リュープリン (リュープロレリン)	(92. 9)	前立腺がん・乳がん・子宮内膜症治療剤	110	97	123	82	105	△4.7%	96	△1.1%	115	△5.9%	
エンブレル	(05. 3)	抗リウマチ剤	99	91	105	76	99	△0.0%	82	△10.1%	98	△6.3%	
ロトリガ	(13. 1)	高脂血症治療剤	72	67	85	61	81	13.2%	71	6.1%	90	5.9%	
ネシーナ ^(注)	(10. 6)	糖尿病治療剤	73	62	80	51	78	6.8%	65	5.4%	79	△1.1%	
ベクティビックス	(10. 6)	直腸・結腸がん治療剤	50	47	53	40	54	8.0%	51	9.0%	57	7.6%	
レミニール	(11. 3)	アルツハイマー型認知症治療剤	43	39	47	33	45	4.7%	39	0.5%	46	△2.1%	
ロゼレム	(10. 7)	不眠症治療剤	21	19	23	17	25	19.4%	22	17.9%	27	16.9%	
ベネット	(02. 5)	骨粗鬆症治療剤	19	16	19	13	17	△10.2%	15	△11.3%	16	△15.5%	
アドセトリス	(14. 4)	悪性リンパ腫治療剤	10	9	10	9	11	10.8%	11	19.8%	15	53.1%	
ニラーロ	(17. 5)	多発性骨髄腫治療剤	2	6	9	7	12	-	9	42.5%	12	27.0%	
アジレクト	(18. 6)	パーキンソン病治療剤	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	
エンタイビオ	(18. 11)	潰瘍性大腸炎治療剤	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	

（注） 配合剤、パック製剤を含む。

（注2） 2018年度より、個別製品売上のグローバルな管理体系にあわせて、国内の一部製品について、値引・割戻等を個別製品毎に売上から控除して表示している。比較を容易にするため、2017年度の数値についても組み替えて表示している。当該組み替えは連結財務諸表に影響を与えるものではなく、また前年度数値の修正を意味するものではない。

ネットベース：値引・割戻等の控除後

◆ 一般用医薬品 国内主要品目売上高

(億円)

	グロスベース		ネットベース				
	15年度	16年度	17年度	17年度 Q3 YTD	18年度 Q3 YTD	対前年同期	
アリナミン錠剤類	252	241	235	190	171	△19	△9.9%
アリナミンドリンク類	149	161	115	94	92	△2	△2.3%
ベンザ類	98	100	71	62	60	△3	△4.1%
ボラギノール類	45	45	44	34	34	0	0.6%
マイティア類	42	39	37	23	27	3	14.6%
緑の習慣類	11	27	32	24	21	△3	△12.0%

(注1) 武田コンシューマーヘルスケア株式会社の国内売上高
2017年4月1日より、武田コンシューマーヘルスケア株式会社がジャパンコンシューマーヘルスケアビジネスユニット
(JCHBU) 事業を承継し、新会社として事業を開始。

(注2) 2018年度より、個別製品売上のグローバルな管理体系にあわせて、国内の一部製品について、値引・割戻等を個別製品毎に売上から控除して表示している。比較を容易にするため、2017年度の数値についても組み替えて表示している。本ページに記載の製品については、2018年度第2四半期において控除方式の変更を行ったため、2018年度第1四半期決算時に開示した2018年度第1四半期および2017年度の数字から、再度組み替えて表示している。当該組み替えは連結財務諸表に影響を与えるものではなく、また前年度数値の修正を意味するものではない。

グロスベース：値引・割戻等の控除前

ネットベース：値引・割戻等の控除後

◆ 一般用医薬品 国内主要品目売上高（四半期）

（億円）

	17年度（ネットベース）				18年度（ネットベース）							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
アリナミン錠剤類	69	57	64	45	57	△17.5%	54	△5.6%	61	△5.4%		
アリナミンドリンク類	31	31	32	21	31	2.3%	31	△2.0%	30	△7.0%		
ベンザ類	10	31	21	9	10	△3.8%	32	3.3%	18	△15.3%		
ボラギノール類	10	10	13	10	10	0.5%	10	1.5%	13	0.0%		
マイティア類	8	8	8	14	9	16.2%	9	14.4%	9	13.4%		
緑の習慣類	8	8	8	8	7	△6.9%	7	△10.7%	7	△17.8%		

（注1） 武田コンシューマーヘルスケア株式会社の国内売上高

2017年4月1日より、武田コンシューマーヘルスケア株式会社がジャパンコンシューマーヘルスケアビジネスユニット（JCHBU）事業を承継し、新会社として事業を開始。

（注2） 2018年度より、個別製品売上のグローバルな管理体系にあわせて、国内の一部製品について、値引・割戻等を個別製品毎に売上から控除して表示している。比較を容易にするため、2017年度の数値についても組み替えて表示している。本ページに記載の製品については、2018年度第2四半期において控除方式の変更を行ったため、2018年度第1四半期決算時に開示した2018年度第1四半期および2017年度の数値から、再度組み替えて表示している。当該組み替えは連結財務諸表に影響を与えるものではなく、また前年度数値の修正を意味するものではない。

ネットベース：値引・割戻等の控除後

Underlying Coreへの調整項目一覧 (2018年度 第3四半期累計および2017年度 第3四半期累計)



(億円)

2018年度第3四半期累計の調整

	財務ベース	対前期 増減率 (%)	財務ベースからCoreベースへの調整							Core	対前期 増減率 (%)	Coreベースから実質ベースへの調整					Underlying Core (実質ベース)	対前期 増減率 (%)		
			CEから 営業利益まで の科目の調整	条件付対価に 係る公正価値 変動影響	投資有価証券 売却益	テバ社との合併 会社に係る企業 結合会計影響	その他の 企業結合会計 影響	シャイアー社 買収 関連費用	米国税制改革 による影響			その他	為替影響	*1 テバ社との 合併会社への 長期収載品の 売却影響	*2 マルチラブの 売却に伴う影響	*3 テックプールの 売却に伴う影響			その他	事業等の 売却影響
売上収益	13,800	+0.8%							13,800	0.8%	△146					△79	13,575	+4.8%		
売上原価	△3,699	△3.9%							△3,699	△3.7%	20				23	△3,655	△1.0%			
売上総利益	10,102	+2.6%						10,102	+2.5%	△126					△56	9,919	+7.1%			
販売費及び一般管理費	△4,477	△1.9%						△4,367	△4.3%	37				54	△4,276	△2.6%				
研究開発費	△2,289	△3.3%						△2,289	△3.3%	80				4	△2,206	△2.8%				
Core Earnings								3,446	+17.7%	△9				1	3,438	+32.3%				
								Core Earnings							実質的なCore Earnings					
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	△794		794					-							-	-				
償却費	△719		719					-							-	-				
減損損失	△75		75					-							-	-				
その他の営業利益	617		△617					-							-	-				
その他の営業費用	△314		173												-	-				
営業利益	2,844	△11.7%	351					3,446	+17.7%	△9				1	3,438	+32.3%				
金融損益	△321			17				△123		32				3	△88					
持分法損益	△440					521		81		1					82					
税引前当期利益	2,084	△27.6%	351	17		521		3,404	+18.8%	23				5	3,432	+32.2%				
法人所得税費用	△440		△89	△0		△159		△776		10				5	△760					
非支配持分	1							1		△4					△3					
当期利益	1,644	△31.7%	261	16		362		2,629	+20.9%	30				10	2,669	+34.2%				
								Core 当期利益							実質的なCore 当期利益					
EPS	210							336							342					
株式数**	783,486,186							783,486,186							781,309,162					
								Core EPS							実質的なCore EPS					

2017年度第3四半期累計の調整

売上収益	13,696							13,696		△287	△186	△33	△134	△104	△458	12,950
売上原価	△3,850							△3,839		25	18	30	32	42	121	△3,693
売上総利益	9,845							9,857		△262	△169	△4	△102	△62	△337	9,258
販売費及び一般管理費	△4,563							△4,563		75		9	89		99	△4,389
研究開発費	△2,367							△2,367		88		1	8		9	△2,270
Core Earnings								2,927		△99	△169	7	△5	△62	△230	2,598
								Core Earnings								実質的なCore Earnings
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	△863		863					-								-
償却費	△1,014		1,014					-								-
減損損失	150		△150					-								-
その他の営業利益	1,639		△1,639					-								-
その他の営業費用	△468		468					-								-
営業利益	3,223		△307			11		2,927		△99	△169	7	△5	△62	△230	2,598
金融損益	△11			20	△160			△118		60		△1	△1		△1	△59
持分法損益	△333						391	57		△0						57
税引前当期利益	2,879		△307	20	△160	391	11	2,866		△39	△169	6	△6	△62	△231	2,596
法人所得税費用	△472		135	△0	49	△120	△4	△694		12	52	6	2	19	79	△603
非支配持分	2							2		△6						△4
当期利益	2,409		△173	20	△111	271	8	2,175		△34	△117	12	△4	△43	△152	1,989
								Core 当期利益								実質的なCore 当期利益
EPS	309							279								255
株式数**	780,671,614							780,671,614								781,309,162
								Core EPS								実質的なCore EPS

*1 2017年5月に当社の日本の長期収載品7製品をテバ社との合併会社に売却したことに伴う前期末の影響を調整しております。
 *2 当社のブラジルの連結子会社であるマルチラブ社の売却（2018年7月）に伴い、前期末と当期の同社の損益を調整しております。
 *3 当社の中国の連結子会社であるテックプールの売却（2018年8月）に伴い、前期末と当期の同社の損益を調整しております。
 ** 財務ベースEPSおよびCore EPSの算出にあたっては、期中平均株式数（自己株式控除後）を使用しております。実質的なCore EPSの算出にあたっては、比較年度末（2017年度末）の期末株式数（自己株式控除後）を使用しております。

武田薬品工業株式会社

Underlying Coreへの調整項目一覧 (2018年度 第3四半期および2017年度 第3四半期)



(億円)

2018年度第3四半期の調整

	財務ベース		財務ベースからCoreベースへの調整									Coreベースから実質ベースへの調整							Underlying Core (実質ベース)	対前期 増減率 (%)		
	対前期 増減率 (%)	財務ベース	非正常項目の調整									Core	対前期 増減率 (%)	為替影響	Coreベースからの調整						実質ベースからの調整	
			CEから 営業利益まで の科目の調整	条件付対価に 係る公正価値 変動影響	投資有価証券 売却益	テバ社との合併 会社に係る企業 結合会計影響	その他の 企業結合会計 影響	シャイアー社 買収 関連費用	米国規制改革 による影響	その他	*1 テバ社との 合併会社への 長期収載品の 売却影響				*2 マルチラブの 売却に伴う影響	*3 テックプールの 売却に伴う影響	その他	事業等の 売却影響				
売上収益	+2.3%	4,994										4,994	2.3%	△88						4,906	+6.0%	
売上原価	△2.7%	△1,385										△1,385	△2.4%	17						△1,368	+1.9%	
売上総利益	+4.3%	3,609										3,609	+4.2%	△71						3,538	+7.7%	
販売費及び一般管理費	△3.3%	△1,539								31		△1,508	△5.2%	25						△1,483	△2.2%	
研究開発費	△5.0%	△775										△775	△5.0%	39						△736	△5.4%	
Core Earnings										31			+25.6%	△8						1,318	+33.1%	
																					1,318	
製品に係る無形資産償却費及び減損損失		△311	311									-								-		
償却費		△242	242									-								-		
減損損失		△69	69									-								-		
その他の営業利益		293	△293									-								-		
その他の営業費用		△153	44							110		-								-		
営業利益	+27.9%	1,125	61							140		1,326	+25.6%	△8						1,318	+33.1%	
金融損益		△169			3					93		△72		12						△60		
持分法損益		△480					503					23		1						24		
税引前当期利益	△13.3%	476	61	3			503			234		1,277	+22.4%	4						1,281	+28.7%	
法人所得税費用		△97	5	△0			△154			△53		△299		15						△284		
非支配持分		△1										△1		△4				4		△1		
当期利益	△44.5%	378	66	3			349			181		977	+28.6%	15				4		996	+36.8%	
																				996		
EPS		48										125								127		
株式数		784,477,033										784,477,033								781,309,162		

2017年度第3四半期の調整

売上収益	4,882
売上原価	△1,423
売上総利益	3,459
販売費及び一般管理費	△1,591
研究開発費	△816
Core Earnings	
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	△295
償却費	△352
減損損失	57
その他の営業利益	270
その他の営業費用	△148
営業利益	879
金融損益	8
持分法損益	△338
税引前当期利益	549
法人所得税費用	131
非支配持分	1
当期利益	681
EPS	87
株式数	781,122,699

										4,882
										△1,419
										3,462
										△1,591
										△816
										1,056
										Core Earnings
										-
										-
										-
										-
										-
										1,056
		6	△62						5	△43
					368					30
		173	6	△62	368	4			5	1,043
		△47	0	19	△113	△1		△251	△22	△284
										1
		126	6	△43	256	3		△251	△17	760
										Core当期利益
										97
										Core EPS
										781,122,699

△141	△18	△9	△48	△38	△113	4,628
23	17	9	12	16	54	△1,343
△118	△1	△0	△35	△22	△59	3,285
40		3	30		33	△1,517
35		0	2		3	△778
△43	△1	3	△3	△22	△23	990
						実質的なCore Earnings
						-
						-
						-
						-
						-
						-
△43	△1	3	△3	△22	△23	990
18		△0	△0		△0	△25
0						30
△24	△1	3	△3	△22	△24	995
7	0	3	2	6	12	△265
△3			4	△3	0	△2
△20	△1	6	3	△19	△11	728
						実質的なCore当期利益
						93
						実質的なCore EPS
						781,309,162

*1 2017年5月に当社の日本の長期収載品7製品をテバ社との合併会社に売却したことに伴う前期の影響を調整しております。

*2 当社のブラジルの連結子会社であるマルチラブ社の売却(2018年7月)に伴い、前期の同社の損益を調整しております。

*3 当社の中国の連結子会社であるテックプールの売却(2018年8月)に伴い、前期の同社の損益を調整しております。

** 財務ベースEPSおよびCore EPSの算出にあたっては、期中平均株式数(自己株式控除後)を使用しております。実質的なCore EPSの算出にあたっては、比較年度末(2017年度末)の期末株式数(自己株式控除後)を使用しております。

武田薬品工業株式会社



当期利益からEBITDA/調整後EBITDAへの調整

(億円)	通期 (3月31日までの12ヶ月)			第3四半期累計 (12月31日までの9ヶ月)	
	2016年	2017年	2018年	2017年	2018年
当期利益	835	1,155	1,867	2,407	1,644
法人所得税費用	371	278	305	472	440
減価償却費及び償却費	1,822	1,714	1,821	1,427	1,163
純支払利息	30	55	68	50	94
EBITDA	3,058	3,202	4,061	4,356	3,341
減損損失	152	514	135	△149	80
その他の営業収益・費用 (減価償却費及び償却費を除く)	170	△783	△611	△1,180	△316
金融収益・費用 (純支払利息を除く)	73	54	△144	△40	227
持分法による投資損益	-	15	322	333	440
その他の調整項目					
連結除外に係る損失	63	-	-	-	-
アリアド社の買収に係る費用	-	32	-	-	-
アリアド社の買収で取得した棚卸資産の公正価値調整による利益への影響	-	-	14	11	-
シャイアー社買収に係る費用	-	-	-	-	110
調整後EBITDA	3,516	3,034	3,777	3,332	3,881

武田薬品工業株式会社



武田薬品工業株式会社